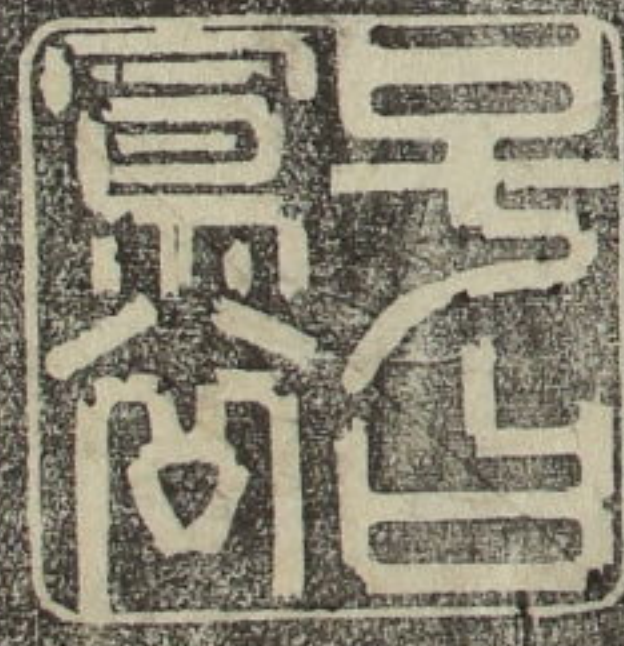


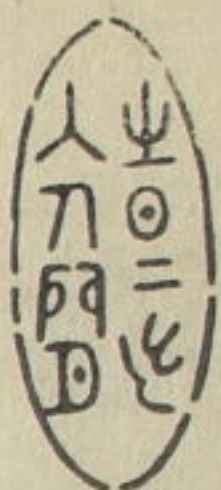
題源氏插花卷首
伊昔东山风雅迹
瓊葩绣蕊在春枝

此主
示宣院

休論屈折枝條事
展具插总为自由
太原法橋子家新卜
之求

國子祭酒孫子真





中種花玉圖

深川 和家



花言一中之卷





海和言 中之卷



海和言 中之卷

15

古松巴



海松言





竹石图

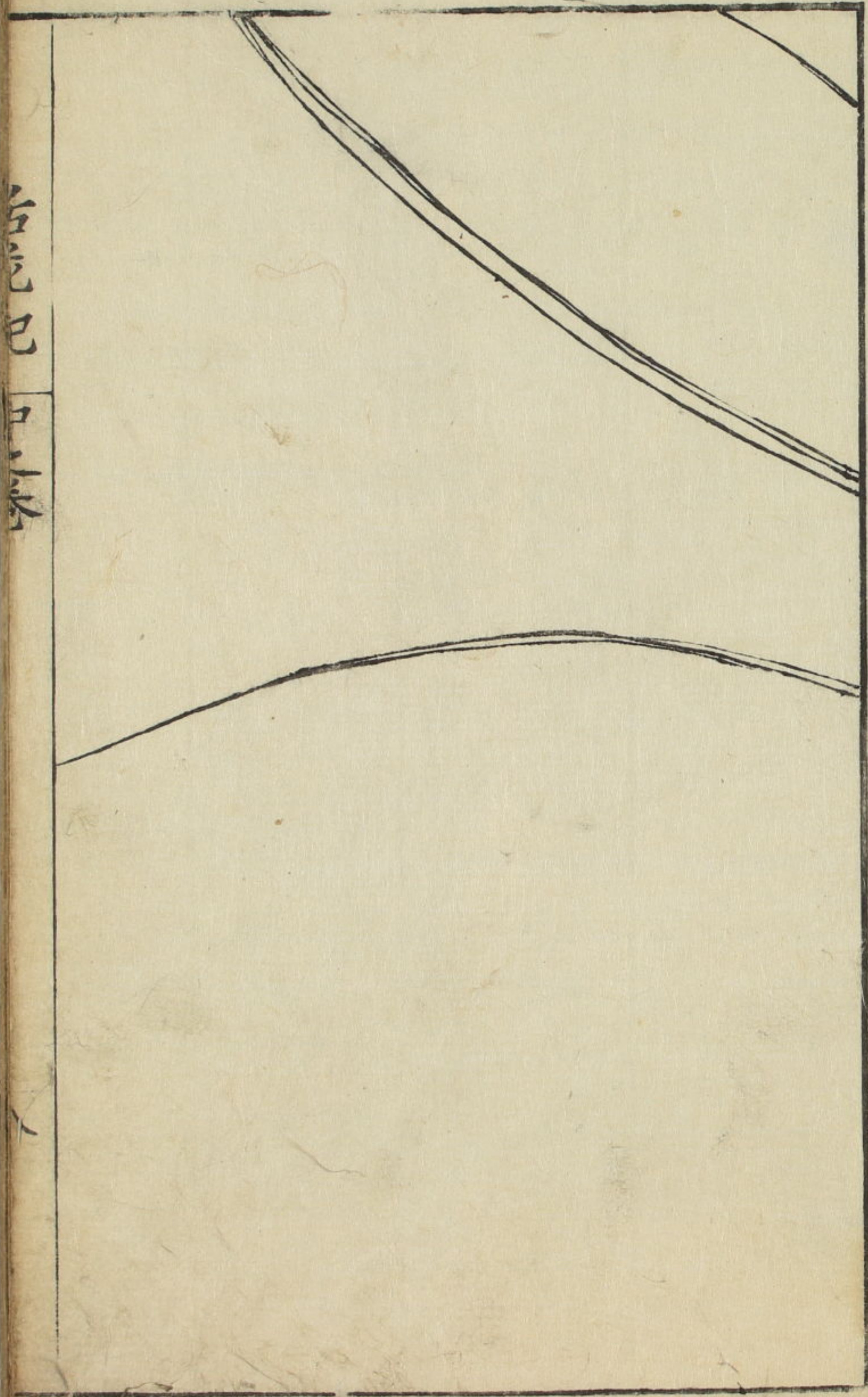
竹

竹



竹石图

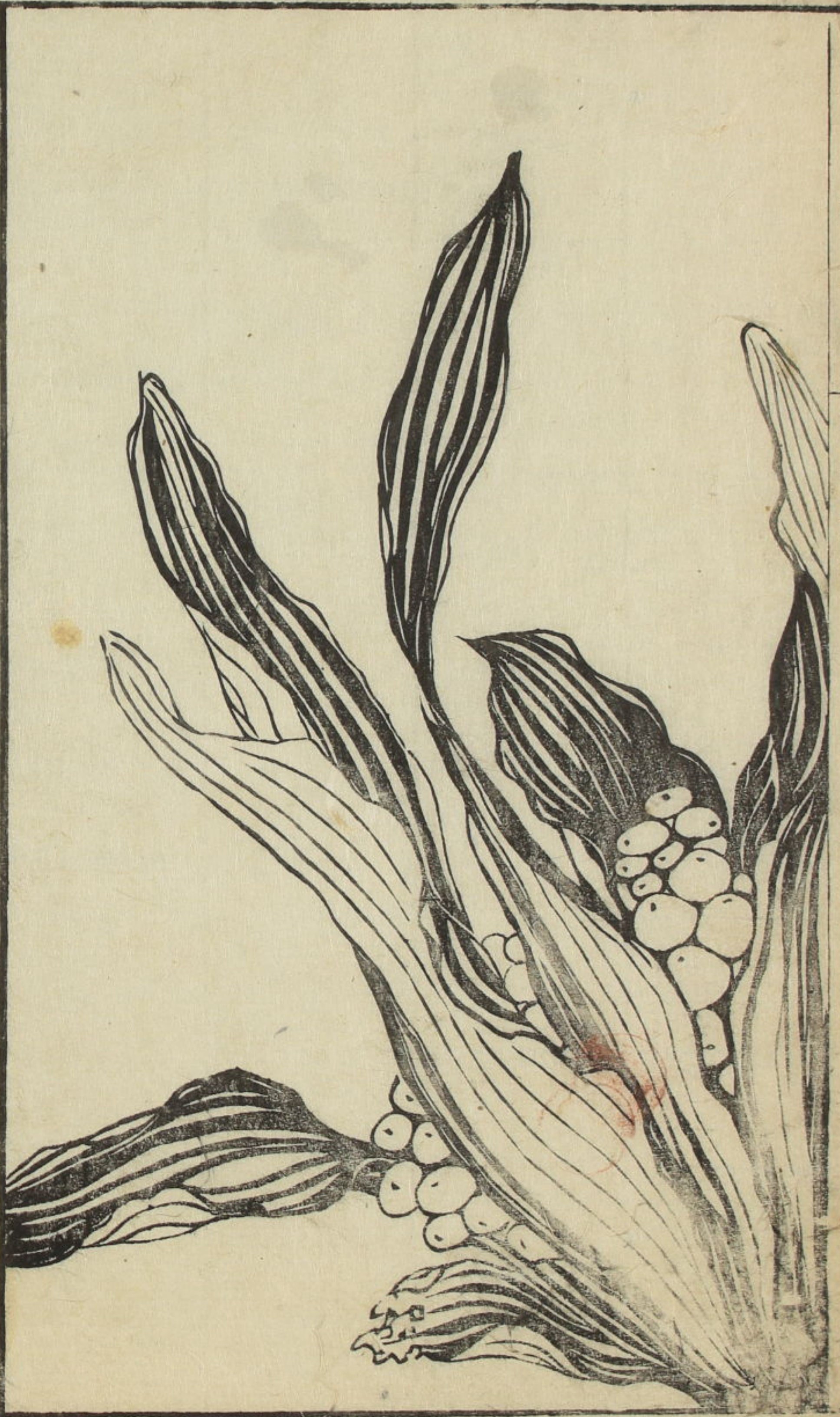
古邑巴口



滋補詩曰

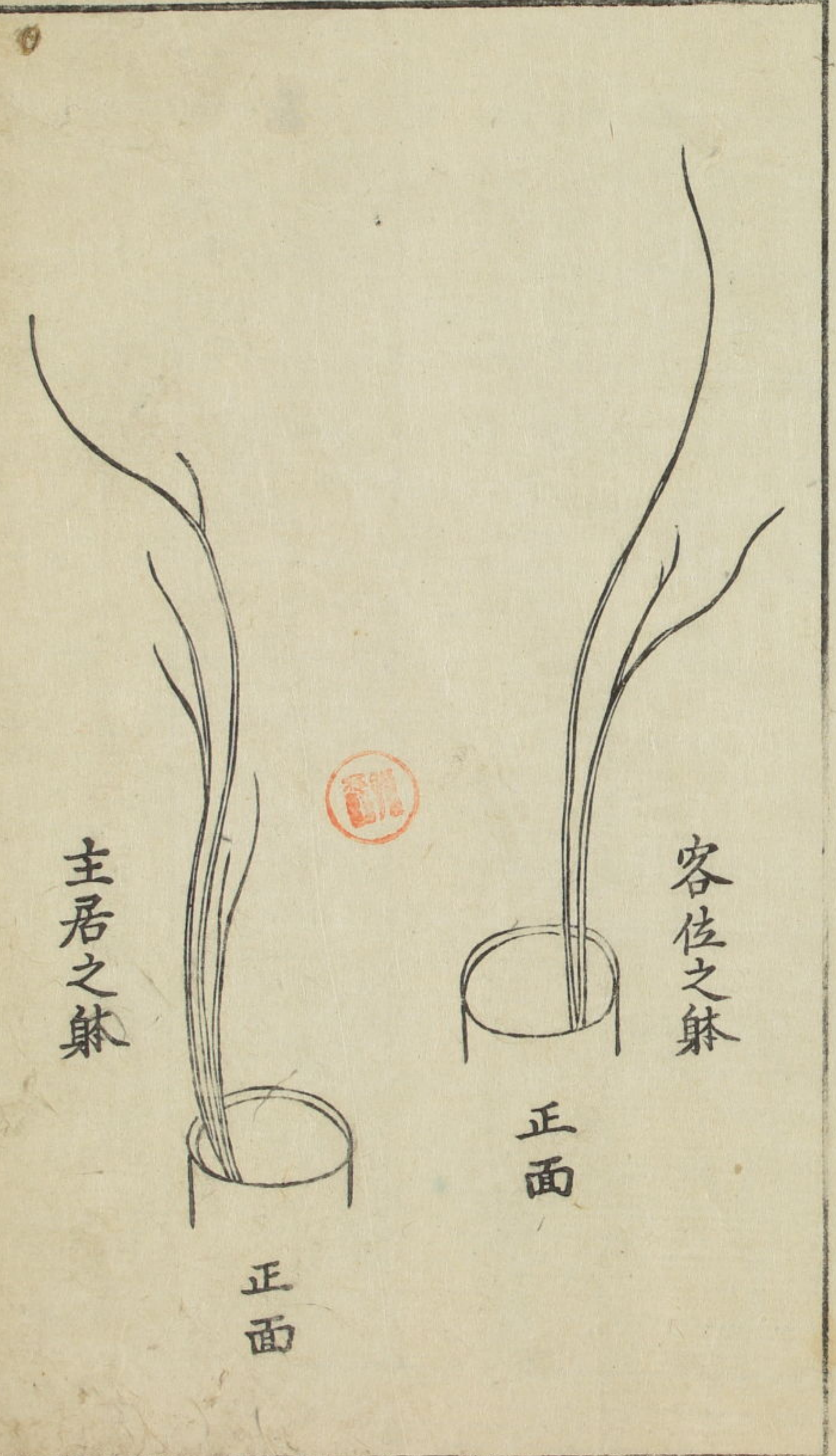


七



右小當り六種生花は、秘傳常に秘傳せざるものゆえ
 出生する海をとりとあつたすあり様と紅葉は、秋の
 司家日なしては、いとを様なり松と竹と、夏冬の司家て
 陰陽の差別いけり、留あり、蕪葉と葉と、六種の
 よて、美の司家、中よも様と、源氏五十四の、六種
 の秘傳の、これ、を、林中の秘傳なり、源氏の、秘傳
 規矩の花よ、美、秘傳、一様、あり、四季、後よ、咲く
 心花、より、わ、必、秘傳、花、美、秘傳、あり、と、初、より、あり、と、か、ら、と
 と、と、す、花、は、出生、と、あり、と、い、け、り、肝、あり、と、松、竹、あり、と、

祝年宵一乃そのありて大書院の真に松あり茶を煮て
 ち寧の作に詩平文等も茶実お承とまるとして
 人倫は花実をもまば偏屋ありて聖の道に叶い
 むろくよく実を承れを非常なるなり寧を
 して茶をまを流軒初く事あり故に生
 むくも花実お承と専とすれなりむも実も
 いけ敷き大祝をなり大此六種の切紙乃中
 の大秘傳
 ぬくいけくと累一と出せんと安を
 万本子草乃お生るまふとく人刻
 萬本子草乃お生るまふとく人刻

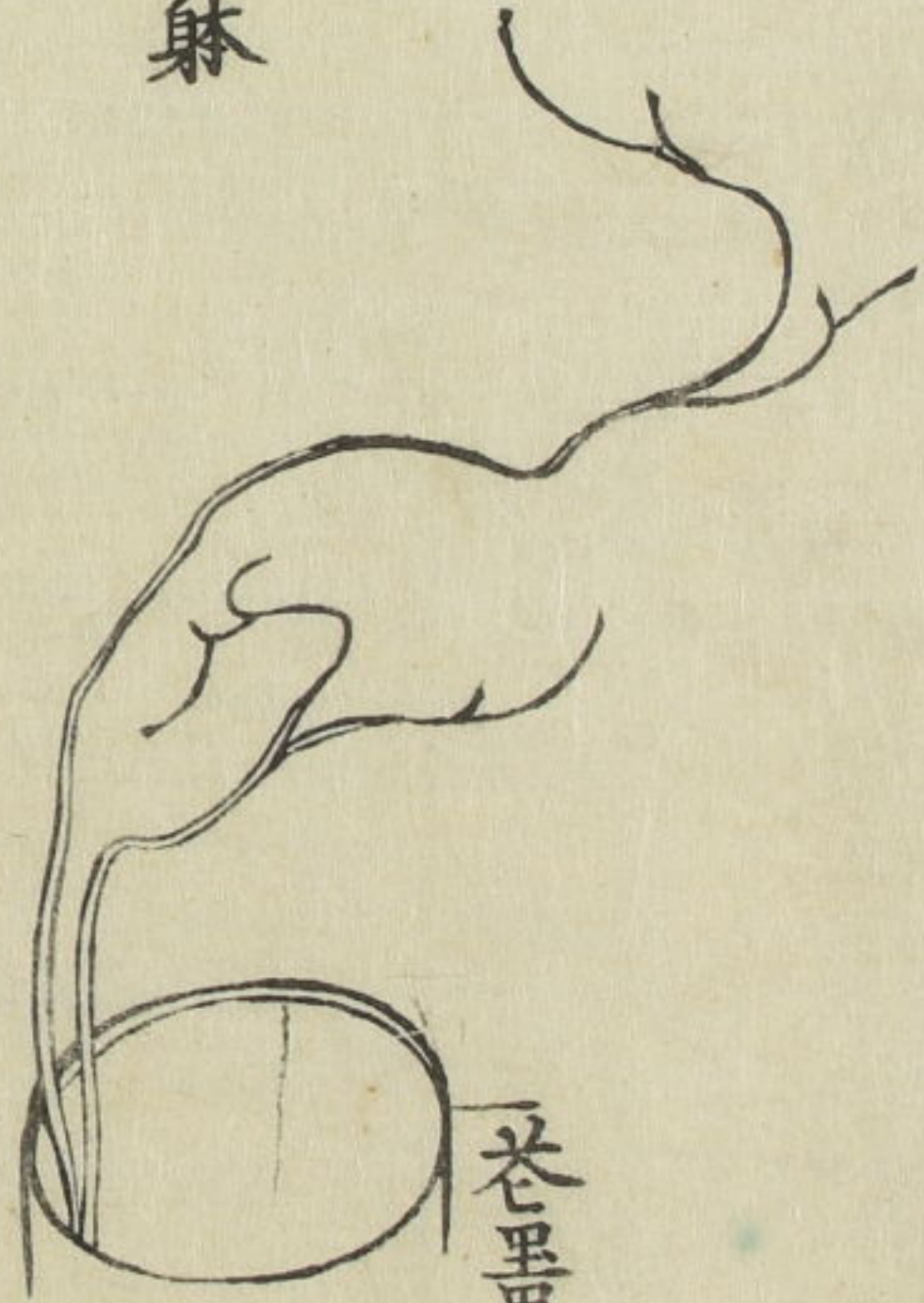


正面活之鉢



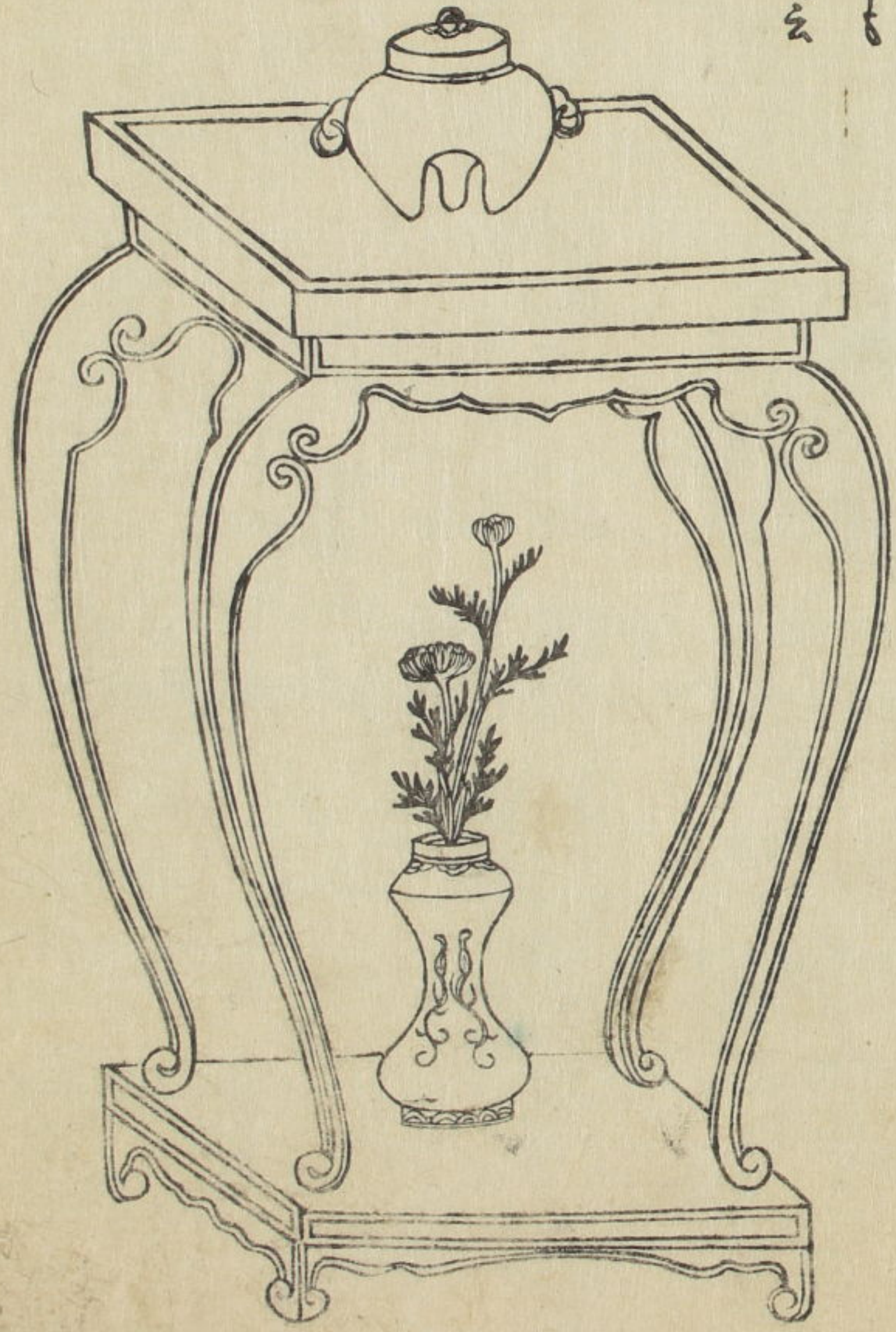
苍畧 正面

向活之鉢



苍畧 正面

元日草
福寿草
報春草





牡丹花
芍药花
杜鹃花
兒吉花

柳梅





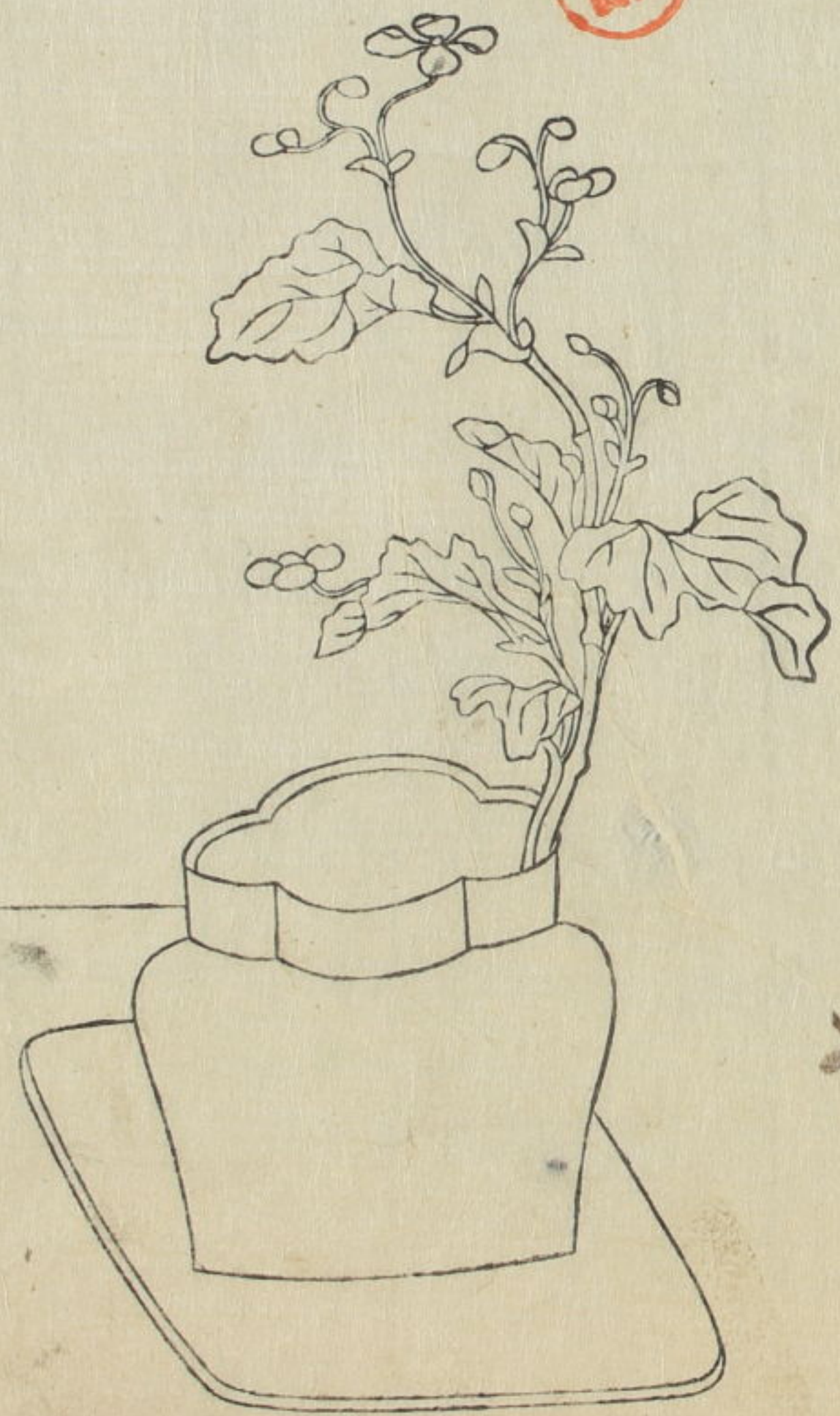
牡丹花 一名 牡丹
七葩八葉九本
九品五分
不之八



鉄線花 一名 鐵線
風車に似たり
纏枝牡丹と
よみ重なる葩八あり

化掬草 一名 山礬石
海老根草丸

秋海棠
爛腸草
舊傳為



正面

莞
河骨
牡若





水仙
南燭

蘭天竹

南天月中旬に白花と紫花とありす。葉は狭く、冬は赤く、夏は緑なり。黒色あり。州木。益史曰。南燭、草木通用の如竹とひり。故に竹の名あり。南天と不浄な故に拂ふなり。

大菊
小菊



水仙花

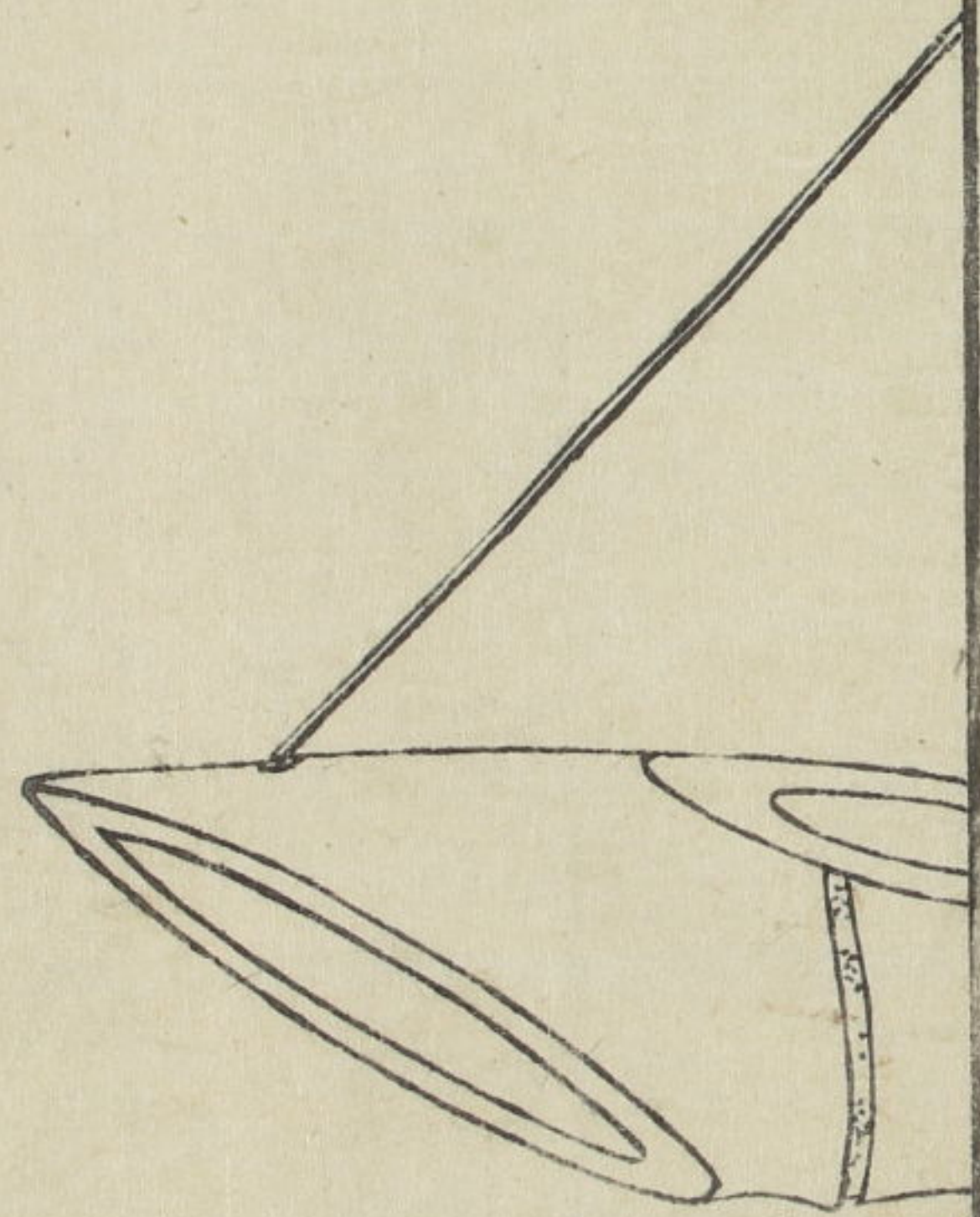
すいせん
金蓋銀屋小たふ
山谷曰一名仙骨
凡花より水仙の
骨象ありあり
故に見るに



入舟

長崎の
文政
田舎
花

出
紅
柳
仙
梅





桃花



泊弘
勝藤公草



蒲
水葵
浮藿

古花記

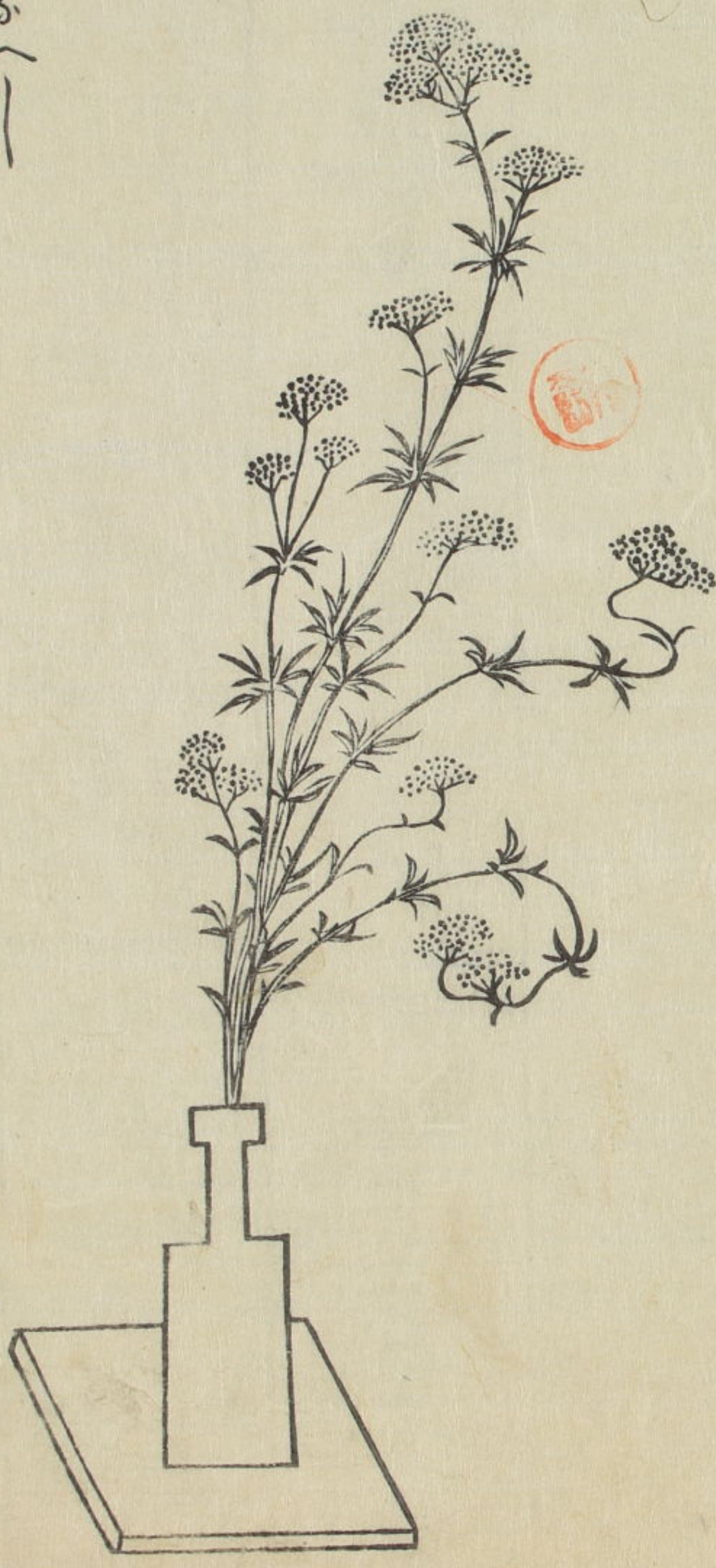


木賊
松本秀
一名
芳秋羅
芳红花
仙翁花



古花記

女席割



古鏡巴中巻

三

椿
河柳
えのこ柳



新不言口二巻

一

古花巴口

龍膽



紫
薺



法不吉口

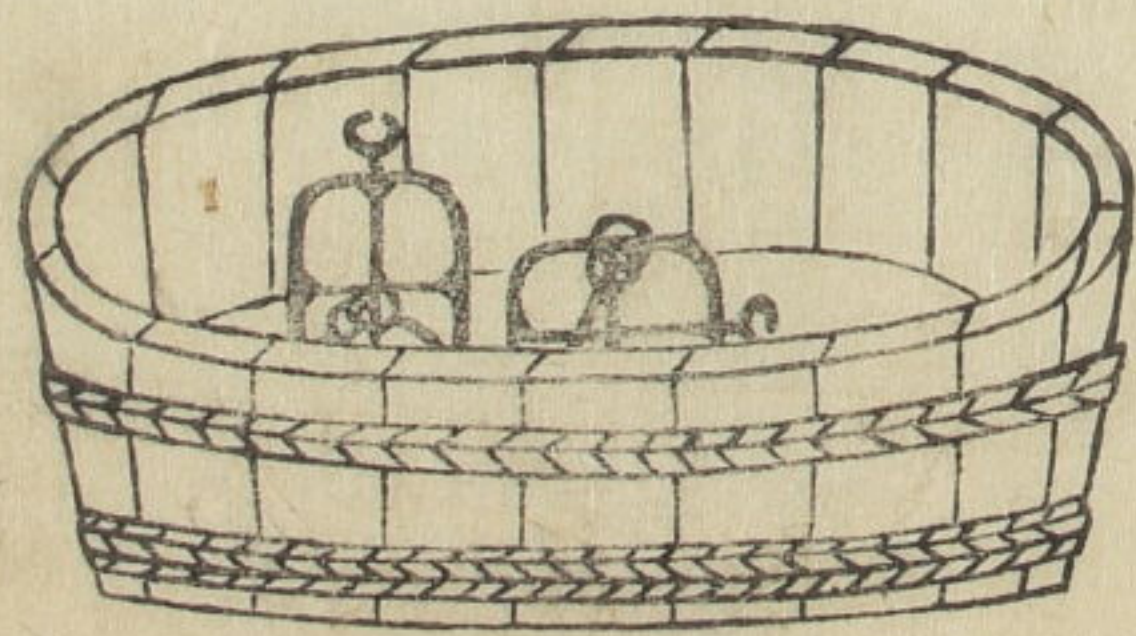


檜ひ
扇せん
一名射干
一曰射干



美楊草ひやうそう
一名金糸桃きんしとう

馬監轡しものくそ免六我宮の内陳中
 小てたといけ敬人に花をふきさるる合
 たるるのたふいよくつと入むとわも
 附れるのりぞわーふととくに習れそ
 冠せす清浄ある花をさるるのたふいと
 名付てふ書院の花が用持人いふを
 にいたふといくつとの花と一わーく作
 細やうにわさるる花をさるるのたふ
 同要とふくつと



いけたる
 活溜
 萩 菊 芍
 牡丹 芙蓉 秋海棠
 桔梗 燕麥 女貞草

如世花疑ハ之花乃瓶あり
生花ハ用ひす也しるふ
ハ印ハ紙をもちふ際ある
う〇くわ 志原氏に傳の
附分ハ世花疑ハ

